

## 「ゾーン切符、『土佐・龍馬であい博』広報」

Dさん：国交省とかいろいろなところがやっているものが既にあり、あるものはやはり有効活用して欲しいです。私たちの部会では、以前から交通事業者に「ゾーン切符が欲しい」と提言しています。1枚のチケットさえあれば路面電車やバスなどで自由に回れるというものがあつたら、地元の人も県外の観光客もすごく安心できます。また、トラックや県外に行く高速バスに「土佐・龍馬であい博」のステッカーを貼り付けて、動く広告塔として県外の方の目に触れさせる。いろいろなやり方があると思いますので、ぜひ知事がリーダーシップをとってください。

知事：公共交通網の連携により、1枚で全部できるようにすれば、二次交通対策としてもすごく便利ですので、検討してみます。いろいろなお客さんを想定しないといけないのはご理解いただきたいと思います。観光客の中には、公共交通機関を使いこなせる人もいると思いますが、一定のルールに乗って行きたい人もいます。多様な手段で試行錯誤することが必要だと思っています。

動く広告塔の話は、ラッピングバスは走っていますが、トラックにも貼ってもらったらいいでしょうか。

Dさん：どこかのスポンサー付きでステッカーを作るとか、県がお金出さなくても何か方法があると思います。

知事：「土佐・龍馬であい博」のイメージキャラクターやロゴマークは無料で使えます。例えば年賀はがきを作ってくださいたり、園芸連さんも野菜のパッケージの中に入れてくれたりと、いろいろな形で増えてはいます。

Eさん：県外から飛行機で来られた方は、次の交通手段としてバスのチケットしか手に入れられません。空港や駅に、バス・路面電車・JRなどに乗ることのできる1枚の切符を買えるようにしたり、次の交通手段の情報案内があると、時間のロスをしなくてもすむと感じます。

知事：ご指摘の通りだと思いますので、業者さんと相談してみます。